

SheBelieves Cup Champions



ツネログ

2025年4月号 #08



皆さん、こんにちは。

先日の国際サッカー連盟(FIFA)カOUNシルで2031年のFIFA女子ワールドカップがアフリカまたは北中米カリブ海で開催されることが決まりました。事前に情報を集めてFIFAの方針をある程度把握し、予測できていたとはいえ、招致を目指していた私たちにとっては非常に残念な知らせとなりました。併せて2035年の開催がアフリカまたは欧州での開催となることもアナウンスされています。

しかしながら、日本で女子サッカーの人口を増やし、競技レベルを引き上げていく方針に変わりはありません。強い代表チームをつくり、環境を整えながら女子サッカーをきちんと日本に根づかせて、プレゼンスをより高めていきたい。サッカーファミリーの皆さんと歩調を揃えて肅々とやっていくことが2039年以降の招致につながるとも考えています。

そのような中、アメリカで開催された2025 SheBelieves Cupに出場したなでしこジャパン(日本女子代表)が3連勝を挙げて初優勝を飾ったことはうれしいニュースでした。ニルス・ニールセン監督の初采配となったオーストラリア女子代表との初戦、選手たちが実に伸び伸びと、生き活きとプレーしていました。ニールセン監督の心理的なアプローチが選手たちの躍動を引き出したのだらうと推察します。

3試合通して多くの選手をいろんなポジションで起用し、FIFAランキング1位のアメリカ女子代表にも競り勝ちました。就任前に彼と面

談した際、「試合でなかなか起用できない選手に対してはどうアプローチをするのか?」と尋ねると「私は常に1対1で対応するから問題は生まれません」と言っていました。対話をとても大切にする指導者であり、その通りにチームづくりを進めようとしている印象を受けます。

強いなでしこジャパンをつくっていくべく、JFAとしても選手たちの環境面を整えていく必要があります。これからの活動において、移動フライトやホテル、帯同トレーナーの追加などの改善を進めています。海外でプレーする選手が多くなり、移動の負担を含めストレスを軽減するとともに、試合に向けていい準備をしてもらえたらと思います。

また、締切の都合上多くは述べられませんが、SAMURAI BLUE(日本代表)にもうれしいニュースがあります。アジア最終予選(3次予選)を突破し、アメリカ、カナダ、メキシコの3カ国共催となるFIFAワールドカップ26への出場を決めることができました。本大会で結果を求めていくにはここからの準備がとても大切になってきます。森保一監督からはFIFAランキング上位国との強化試合をリクエストされており、希望に沿うマッチメイクができるように努めていきます。

これからのSAMURAI BLUE、なでしこジャパンにご期待ください。

会長の活動報告

2025年2月14日～3月30日(抜粋版)

2/15(土)

福井県サッカー協会創立75周年記念式典 (ホテルフジタ福井)



本来は昨年8月末に予定されていましたが、台風のため延期となり、関係者の皆さまは調整が大変だったことと思います。福井市フットボールセンターも開業から1年が経ちました。歴史を継承し、新たな福井のサッカー史を作られることを期待しています。

2/18(火)埼玉、19(水)山口、21(金)栃木、3/5(水)奈良、6(木)愛知
3/9(日)滋賀、15(土)宮城、16(日)福島、26(水)大分、27(木)宮崎

47FA訪問会議



これまで36府県を訪問し、皆さんと課題を共有してきました。日本サッカーが持続可能な未来を切り開くには事業、財政、ガバナンス、施設、人材養成といった各分野で好循環を生み、組織力を高めることが不可欠。4月からスタートするFAサポートプログラムで新たな成長を描いていければと考えています。

3/10(月)

日本サッカー後援会 理事会(JFAハウス)

3/12(水)

「サッカー日本代表 新アパレルコレクション 発表レセプション #SAMURAIBLUEとどこまでも」 (blue-ing!)



初めてランウェイを歩かせていただきました。もう少しゆっくり歩けばよかったかなという反省もあります(笑)。ユニフォームだけでなく日常からサッカーを感じられる世界観を作っていければと思います。

3/13(木)

JFA理事会(JFAハウス)

3/20(木祝)

SAMURAI BLUE TO THE FUTURE (サッカー日本代表を応援する特別車)ローンチイベント (TOHOスタジオ)

FIFAワールドカップ26アジア最終予選(3次予選) vs.バーレーン代表(埼玉スタジアム2002)



相手も日本を研究してきた難しい状況の中、プレッシャーをはねのけ、見事、史上最速でのワールドカップ出場を決めてくれました。本大会でも力を出し切り、皆さんとともに“最高の景色”が見られるようしっかりと準備を進めていきます。

3/23(日)

AFC女子チャンピオンズリーグ2024/25 準々決勝 三菱重工浦和レッズレディース vs.武漢江大 (熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)

3/25(火)

Jリーグ理事会(Jリーグ)

FIFAワールドカップ26アジア最終予選(3次予選) vs.サウジアラビア代表(埼玉スタジアム2002)

3/26(水)

WEリーグ理事会(オンライン)

3/30(日)

東アジアサッカー連盟理事会/総会(ホテルニューオータニ) 定時評議員会(JFAハウス)

2/27(木)

ラオスサッカー連盟副会長の Ms. Kanya Keomanyが来局



FIFAカウンシルのメンバーでもあるカーニャ氏と情報交換を行いました。アジアサッカー連盟(AFC)の中でJFAの存在感を増していくためには、東アジアサッカー連盟(EAFF)だけでなく、ASEANサッカー連盟(AFF)諸国との連携も重要。積極的にコミュニケーションをとっていきます。

3/8(土)

IFAコンベンション2025(金沢東急ホテル)



石川県の馳浩知事、石川県サッカー協会の北野孝一会長と鼎談しました。能登では学校の校庭に仮設住宅が建つなど、地震発生前の日常生活が失われたままとなっています。皆さんがサッカーやスポーツを楽しめる環境を取り戻すために、引き続き支援を継続していきます。

3/9(日)

第27回日本フットボールリーグ(JFL)第1節 レイラック滋賀vs.アトレチコ鈴鹿 視察 (平和堂HATOスタジアム)

理事会トピックス

2025年度第3回理事会が3月13日(木)、JFAハウスおよびWeb会議システムで開催されました。詳細およびその他の決議・報告事項については、JFA公式ウェブサイトをご参照ください。



決議事項

評議員及び評議員会規則の改正

2024年度第3回理事会(24年3月7日開催)において「常設委員会」の区分が廃止されたことに伴い、評議員及び評議員会規則が改正されました。

リスペクト委員会 委員選任

WEリーグからの申し出により、リスペクト委員会の委員が、西村明子さん(WEリーグ 事業マーケティング部部長)から高林諒一さん(WEリーグ フットボール部 部長)に交代になりました。

女子委員会 委員選任

WEリーグからの申し出により、女子委員会の委員が海堀あゆみさん(WEリーグ 理事)から高林諒一さん(前述)に交代になりました。

女子委員会 女子技術部会の設置

女子委員会に女子技術部会を設置し、佐々木則夫女子委員長が部会長を務めることが決まりました。

JFAロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドラインの改正

JFAロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドラインのうち、JFAロングパイル人工芝ピッチ公認制度を廃止することになりました。制度開始から20

年以上が経過し、環境改善が進んだことなどから一定の役割を終えたと判断されたものです。

報告事項

FIFA女子ワールドカップのホスト割当

第31回FIFAカOUNCIL会議が3月5日にオンラインで開催され、2031年大会はアフリカサッカー連盟(CAF)と北中米カリブ海サッカー連盟(Concacaf)、2035年大会はCAFとヨーロッパサッカー連盟(UEFA)の各加盟協会/連盟からそれぞれ立候補を募ることが決定しました。

FIFA女子クラブワールドカップ™/FIFA女子チャンピオンズカップ™

FIFA女子クラブワールドカップは2028年以降、合計19クラブが出場して4年ごとに開催されます。また、2026年以降、FIFA女子クラブワールドカップが開催されない年には6大陸のクラブ女王が出場するFIFA女子チャンピオンズカップが開催されます。

新たに6人がProライセンスを取得

Jクラブや日本代表チームを率いる上で必要とされる「Proライセンス」について、新たに6人が同ライセンスを取得し、これで24年度の受講生20人のうち15人が認定されました。認定者総数は合計で596人となっています。

定時評議員会トピックス

2025年度定時評議員会が3月30日(日)、JFAハウスおよびWeb会議システムで開催されました。詳細については、JFA公式ウェブサイトをご参照ください。



決議事項

評議員4名の選任、評議員推薦加盟団体認定と定款変更

評議員4名を選任したほか、一般社団法人日本サッカー指導者協会(JFCA)を評議員推薦加盟団体として認定しました。そのことに加え、「常設委員会」と「専門委員会」の区分が廃止されたことを受けて「定款」の変更、「評議員推薦加盟団体規則」の改正も承認しました。

報告事項

2024年度事業報告および決算

新体制に伴う組織基盤の改革や復興支援活動、代表チームの強化、女子サッカーの環境整備、価値共創事業のほか、新たな収益確保の取り組みについて報告しました。また、2024年度の決算は、正味財産ベースで収入232.6億円(前年比▲66.6億円)、支出は221.9億円(前年比▲4.2億円)となり、その結果、損益に該当する当期正味財産増減は+10.7億円(前年比▲62.4億円)となりました。

Information

天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権大会の大会日程

第105回天皇杯は5月24日(土)、25日(日)に開幕。J1、J2、アマチュアシードおよび都道府県代表の全88チームがノックアウト方式で日本一を競います。準決勝は11月16日(日)、決勝は11月22日(土)に開催します。※2/4発表

サッカー日本代表 3カテゴリーの新アパレルコレクション

2025年春夏の日本代表オリジナルオフィシャルグッズを3月13日より発売します。商品コンセプトは「継承と多様性」。日本サッカーの歴史や伝統を継承しつつも、昨今の観戦スタイルの多様化に対応した「STADIUM LINE(スタジアムライン)」、「DAILY LINE(デイリーライン)」、「INNOCENT LINE(イノセントライン)」の3つのコレクションを立ち上げました。※3/12発表

その他の主なニュース

- 「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」石川県輪島市で開催(2/21発表)
- 「審判交流プログラム」ベルギー、イングランドより審判員を招聘(2/24発表)
- JFA・日清オイリオ 世界で戦うための強い身体づくり&サッカー教室(3/7発表)
- JFAと三井不動産によるサッカー体験・応援イベント「FUN&ZONE」(3/7発表)
- 「子どもと青少年のデジタル ウェルビーイングに関するイニシアチブ」協定締結(3/19発表)

「JFA DREAM FUND」立ち上げ

JFAは3月13日より、「JFA DREAM FUND」の運用を開始します。本ファンドは、個人・企業・団体から寄付を募り、その寄付金をサッカーの普及や日本代表のさらなる強化、指導者・審判員などの人材養成、女子サッカーの普及・育成、社会貢献活動などに活用させていただきます。※3/13発表

アディダス ジャパン株式会社と契約延長合意

JFAはアディダス ジャパン株式会社と今後長期にわたる「日本サッカー協会オフィシャルサプライヤー」契約延長について基本合意しました。同社は1999年より代表活動を、2023年からは選手育成や国内大会、その他事業もサポートいただいています。※3/25発表

JFA医学委員会
スポーツ救命部会員

福島理文さんを

マンマーク!

酷暑化が著しい昨今。サッカーファミリーの安全を守るため昨年5月に「JFA熱中症対策ガイドライン」が改正されました。第8回はJFA医学委員会スポーツ救命部会員で順天堂大学准教授の医学博士、福島理文さんとの対談。テーマはズバリ「熱中症」です。

スポーツの垣根を越え、熱中症対策の浸透を

宮本 日本は暑い期間が長くなりましたよね。私が指導者として現場にいたころ(ガンバ大阪監督時代)も、練習時間を朝早くしたところで、既に暑いんですよ。夏の間、選手たちは本当に身を削ってやっていたし、アカデミーを含めた育成年代の選手、子どもたちもまた違う時間帯で練習をやっていますからリスクはすごくあるんじゃないかって感じていました。

福島 気温が毎年のように上がって熱中症の件数も増えています。JFA熱中症対策ガイドラインをより厳格にしていくために改正したのは、サッカーファミリーはもちろんのことスポーツの垣根を越えてJFAから発信していくことで、広く熱中症対策を普及していきたいという思いもありますね。

宮本 命が一番大事であるのは言うまでもなく、夏場のスポーツで不幸なことが起こらないように、と。JFAとしては7、8月にはJFA主催の試合は原則行わないというのは発表しています。

福島 夏に開催されたU-12の全国大会にスタッフとして行った際、ピッチ上で嘔吐する選手がいたり、頭痛を訴える選手がいたり、日中の試合で熱中症がたくさん出ました。JFAがそういう声明を出してくれたことは選手を守るという意味においてとても大切なことだと感じます。

宮本 JFAから出したことでメッセージ性は強く、都道府県のFAを回っていても「すごくありがたい」とか「重く受け止めています」などと反応をいただいている。この時期にそれぞれの地域で行われている試合もあるので、今後、(7、8月を省いて)試合を回していくための仕組みというものを考えていかなければなりません。

福島 まずはWBGT(暑さ指数)を浸透させていく必要があります。昨年のインターハイ(全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会)で観客にアンケートをしてみても、皆さん「熱中症対策をしている」と答えているのに、WBGTの認知度はかなり低い。WBGTは気温だけでなく湿度、日射・輻射熱も加味されます。その上でWBGT31以上の運動は原則中止としています。警戒領域の25~28でも熱中症になっている報告もあるので、そういった認識を皆さんに持っていただかないといけません。

宮本 あと暑熱順化ですよね。大体、どれくらいの日数が掛かるんでしょうか。

福島 数日から2週間程度です。徐々に強度を上げていながら暑さに慣らしていきます。たとえば選手の皆さんが東南アジアや中東などで試合をするとなっても、いろいろと事情もあるでしょうし、2週間掛けれない場合も出てくる。だから最低でも5日間はやってくださいとは伝えています。ツネさんは現役時代、どうでしたか。

宮本 日本代表のときはまず国内で集まって合宿を行うことが多かったので、ホテルのサウナに3、4日ほど入って慣らした記憶がありますね。

福島 僕は昨春カタールで開催されたAFC U23アジアカップにメディカルスタッフとして参加しました。暑い時間に練習すると消耗してしまうので、暑さに慣らしつつも消耗しすぎないように、キックオフ時間に合わせながら調整していきました。尿比重(脱水の評価)の測定も選手のストレスにならないようにやって、コンディションを把握しました。少し脱水気味であれば、水分をしっかり摂取していきましょう、と。

宮本 この前、サウジアラビアに行きましたけど、みんな日中は外であまり活動していない。日本だって将来、夏場の昼間にスポーツするのが難しい時代になるかもしれませんよね。あらためて伺いますが、熱中症対策としてどんなことを意識したほうがいいのでしょうか。

福島 体調がいいというのがまず根本にあります。その上で熱中症対策として身体冷却など方法はいろいろありますが、やはり大切なのは水分補給です。脱水状態だと熱中症になりやすい。汗がたくさん出ると塩分、カリウムなどが失われていくため、スポーツドリンクや経口補水液がよりいいと思います。喉が渇く前に、こまめに取っておくことが大切ですね。

宮本 福島さんにはJFA医学委員会のスポーツ救命部会、アンチ・ドーピング部会、サーベイランス部会において熱中症対策のみならず、多くのことで尽力いただいています。

福島 スポーツ救命部会は熱中症、脳震とう、心肺停止、窒息など命にかかわることをメインにやっています。それぞれのところでブラッシュアップを続けながら、行き渡らせていきたいですね。たとえばJFAスポーツ救命講習会はこれまで団体のみ受け付けていましたが、要望もあって今年3月からは個人で参加できるようになりました。ツネさんにはぜひ「こういう活動をやっていますよ」と発信いただけたらありがたいです。

宮本 それはもちろん。一人でも多くの方に参加してもらえよう呼び掛けていきたいと思います。

福島理文 (ふくしま・よしふみ)

1979(昭和54)年10月11日生まれ。東京都出身。

順天堂大学医学部卒業後、同大学大学院医学研究科で医学博士号を取得。循環器内科学、臨床検査医学、スポーツ医学を専門とし、同大学医学部の准教授として活躍。JFA医学委員会ではスポーツ救命部会、アンチ・ドーピング部会、サーベイランス部会に所属。U-23日本代表チームドクター(東京・パリオリンピック)、AFCメディカルオフィサーのほか、いわきFCのチームドクターも務める。日本動脈硬化学会評議員、日本臨床スポーツ医学会評議員、埼玉県スポーツ協会スポーツ科学委員など。

